

平成24年度事業報告

平成24年	
4月	6日 入学式出席
	12日 第1回役員会
	18日 江南キャリア講座(1年生対象)
	19日 第3回シニアゴルフ大会
5月	8日 江南キャリア講座
	10日 会計監査
	17日 第2回役員会
	18日 学校・PTA・同窓会三者会議
6月	3日 平成24年度同窓会総会
	30日 東京支部同窓会出席
7月	7日 江南高校体育祭参観
9月	4日 新入会員勧誘説明会
10月	4日 第3回役員会
11月	25日 第7回青春かながわ校歌祭
12月	21日 全校集会出席 (関東大会以上出場者へ奨励金)
平成25年	
1月	11日 カルタ表彰式出席
	15日 第4回役員会・新年会
2月	15日 会報第60号発行
3月	7日 卒業式出席

年間を通じて
総務委員会 8回(含む企画委員会)
広報委員会 16回(含む校歌祭対応)
財務委員会 12回

平成25年度事業計画(案)

平成25年	
4月	5日 入学式出席
	18日 第1回役員会
	23日 第4回シニアゴルフ大会
	25日 江南キャリア講座(1年生対象)
5月	8日 江南キャリア講座
	11日 会計監査
6月	2日 平成25年度同窓会総会
	19日 学校・PTA・同窓会三者会議
	27日 第2回役員会
7月	13日 江南高校体育祭参観
9月	4日 新入会員勧誘説明会
	28日 第8回青春かながわ校歌祭
10月	24日 第3回役員会
12月	20日 全校集会出席 (関東大会以上出場者へ奨励金)
平成26年	
1月	10日 カルタ表彰式出席
	15日 第4回役員会・新年会
2月	15日 会報第61号発行
3月	7日 卒業式出席

委員会担当内容

- (1)総務委員会 総会および役員会の統括、事業計画の策定、会員情報の管理、会員名簿の発行等
- (2)財務委員会 会計の管理、年次収支予算の立案、年次収支決算の作成、財務計画の立案等
- (3)広報委員会 江南同窓会報の発行、会員向け広報、ホームページ運営、校歌祭運営等

平成25～26年度役員(案)

会 長	真壁佐一(高19)		
副 会 長	森脇房恵(高9)	笠野順一(高20)	
会 計	古正悦子(高26)	小林敦子(高27)	
監 事	瀬下浩(高18)	奥谷和義(高20)	
名誉顧問	稲本隆(学校長)		
顧 問	山口博(元学校長)	安藤啓一(元学校長)	國武忠彦(元学校長)
	京野勝(元学校長)	落信久(元学校長)	朝野哲夫(元学校長・高19)
	羽生晴男(元学校長)	大畑多津雄(前学校長)	
参 与	平岡美恵子(高2)	柳田雅美(高5)	高橋烈雄(高8)
	持田修(高13)		
名誉会長	中瀬達雄(高5普)		
幹 事			
(総務委員会)	笠野順一(高20)	添田健一(高39)	石井栄一(高27)
	安藤裕美子(高33)	鈴木衣乃里(高33)	築城稔(高33)
	石黒貴子(高35)	石井園子(高38)	
(財務委員会)	林義則(高19)	河間洋子(高20)	鳥海衡一(高26)
	古正悦子(高26)	安藤哲史(高27)	小林敦子(高27)
	岩崎和子(高33)		
(広報委員会)	美濃本小夜子(高18)	金子明史(高25)	渡辺大三(高11)
	和田昌幸(高18)	森幸男(高24)	小川範子(高25)
	鈴木恵美子(高25)	戸倉かすみ(高25)	木村一彦(高36)
	沼田繁(高48)		
(校内幹事)	夏苺一裕(高27)	上野剛一(高41)	

次 第

茶道部によるおてまえ (西館2階教室)

第1部 講演会

「平塚ゆかりの虎御前と曾我兄弟」

新村衣里子さん(高47回)

第2部 総 会

1. 開会のことば
2. 新入会員入会式
3. 会長挨拶
4. 名誉顧問挨拶
5. 特別会員紹介
6. 議長選出
7. 議事

一号議案 事業報告

二号議案 決算報告

三号議案 会計監査報告

四号議案 事業計画案

五号議案 予算案

六号議案 役員改選案

七号議案 エアコン貸付金処理案

その他

8. 報告

・同窓会細則の改定報告

・新規代議員報告

・「助っ人バンク」のお願い

・第8回校歌祭のお誘い

9. 閉会のことば

合唱部によるミニコンサート・校歌斉唱

第3部 懇親会 (西館2階教室)

平成24年度決算報告書(一般会計)

平成25年度予算案

*収入の部 単位:円

項目	予算額	決算額	増減
前年度繰越金	937,436	937,436	0
入会金	1,525,000	1,500,440	24,560 ①
10年毎会費	600,000	1,011,595	△ 411,595 ②
雑収入	10,000	112,265	△ 102,265 ③
広告料	100,000	100,000	0
特別資金積立金より	2,000,000	2,000,000	0
同窓会基金	1,000,000	1,000,000	0
校外活動援助費	1,000,000	1,000,000	0
合計	5,172,436	5,661,736	△ 489,300

増減は(予算額-決算額)

*支出の部 単位:円

項目	予算額	決算額	増減
総会費	220,000	226,343	△ 6,343
会報費	2,150,000	2,007,851	142,149
会報製作	550,000	439,665	110,335
会報発送	1,600,000	1,568,186	31,814
運営費	1,000,000	600,396	399,604 ④
事務用品費	10,000	268	9,732
通信費	70,000	54,585	15,415
慶弔費	60,000	56,636	3,364
学校後援費	300,000	278,420	21,580
渉外費	20,000	20,710	△ 710
雑費	5,000	0	5,000
予備費	337,436	237,800	99,636
校外活動援助費	1,000,000	1,000,000	0
小計	5,172,436	4,483,009	689,427
次年度繰越金	0	1,178,727	△ 1,178,727
合計	5,172,436	5,661,736	△ 489,300

特別資金積立金(H25.3.31現在)

項目	23年度末	24年度末	備考(元利合計)
同窓会基金	19,583,383	18,651,019	18,657,876 ⑤
生涯協力金		5,176,060	
母校校外活動援助費	9,000,000	8,000,000	

項目	23年度末	返済額	残
長期貸付金	10,500,000	1,500,000	9,000,000

特別資金積立金より江南高校へ貸付、平成21年度より10年で返済 利子5529円(H25.3.31現在)

- ①64回生317名卒業 307名入会 振込手数料 34,560円 同窓会負担
- ②10年毎会費(14,24,34,44,54回生)188名 30年会費(31回生2名、32回生3名、33回生15名)を含む
- ③同窓会名簿代4,000円、43回生より87,407円の寄付を含む
- ④校歌祭経費 394,419円を含む
- ⑤高13回生以前の卒業生より

平成25年3月31日

以上ご報告いたします。

会計 古正 悦子
小林 敦子

平成25年5月11日

監査の結果、適正と認めます。

会計監査 瀬下 浩
奥谷 和義



*収入の部 単位:円

項目	25年度予算	24年度予算
前年度繰越金	1,178,727	937,436
入会金	1,890,000	1,525,000 ①
10年毎会費	1,000,000	600,000 ②
雑収入	10,000	10,000
広告料	100,000	100,000
特別資金積立金より	1,000,000	2,000,000
同窓会基金	-	1,000,000
校外活動援助費	1,000,000	1,000,000
合計	5,178,727	5,172,436

*支出の部 単位:円

項目	25年度予算	24年度予算
総会費	220,000	220,000
会報費	2,150,000	2,150,000
会報製作	550,000	550,000
会報発送	1,600,000	1,600,000
事業費	500,000	-
運営費	400,000	1,000,000
事務用品費	10,000	10,000
通信費	50,000	70,000
慶弔費	60,000	60,000
学校後援費	300,000	300,000
渉外費	30,000	20,000
雑費	-	5,000
予備費	458,727	337,436
校外活動援助費	1,000,000	1,000,000
合計	5,178,727	5,172,436

①65回生316名卒業 270名入会(会費7000円)

②対象(15、25、35、45、55回生)

平塚ゆかりの虎御前と曾我兄弟

六月二日 江南高等学校同窓会

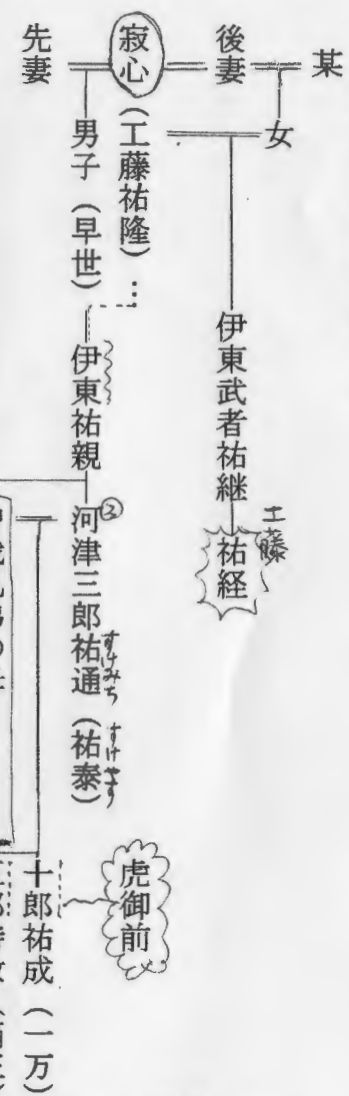
新村衣里子

一、はじめに

平塚と虎御前—山下長者屋敷跡、虎女の文塚、虎女住庵跡、莊嚴寺、

泡多羅山（泡垂山）、曾我十郎の硯水、五郎の捨り松

二、曾我兄弟の敵討事件とは



三、虎御前の生涯

出自 三寅の出生—平塚から大磯へ

そもそも、かの虎と申す遊君は、母もとより平塚の宿の者なりけり。その父を尋ねれば、平治の乱の時誅されし悪右衛門 督信頼卿の舎兄に、民部権 小輔基成とて奥州平泉へ流され給ふ人の御乳母子に、宮内判官家長と云ひし人の娘なり。その故は、この人（家長）は平治の逆乱の謀叛に依て都の内にはあり兼ねつつ（いられなくなつて）、東国鎌倉の方へ落ち下りたりけるに、相模の国の住人に海老名源八権守季貞と云ふ人に都にて芳心する（親切を施した）事ありける間、その宿所を憑みて（たよって身を寄せ）居たりける程に、年来になりければ（そのうちに）平塚の宿に夜叉王と云ふ傾城のもとへ通ひける程に女子一人儲けたり。寅の年の寅の日の寅の時に生れたりければ、その名をば三虎御前とぞ呼びにける。

※流布本などでは伏見大納言の娘、幸若舞『和田酒盛』では山下宿河原長者の娘、
 御伽草子『唐糸さうし』では山下の長者の娘とされる。

遊女 十郎との出会い—敵討計画を告げられた唯一の女性

箱根山にて出家—廻国修行—兄弟の遺骨を納めるために善光寺へ

—曾我大御堂にこもる（流布本—大磯の高麗寺の山の奥、山下か）
 —死（『曾我物語』は虎の死をもって終わる）

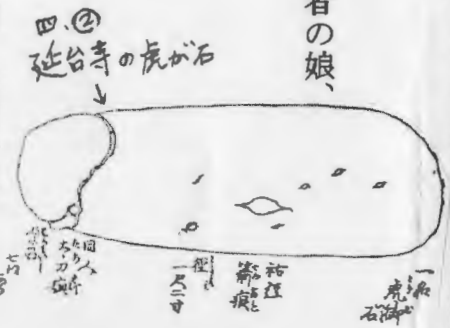
四、虎にまつわる伝承、史跡、伝説

① 虎が雨—陰曆五月二十八日に降る雨。俳句の季語。大磯の誠しぐるる虎が雨 正岡子規

② 虎が石—大磯の延台寺の虎が石。『東海道中膝栗毛』、『御前義経記』、『白波五人男』

③ 虎御前伝説—『地藏菩薩靈驗記』、富士市厚原の玉渡神社、東北から九州に残る伝承

五、おわりに



江南同窓会代議員

平成25年6月現在

回数代議員

(女3回)	笹川 智恵子	(高9回)	橋本 良子	(高22回)	関野 洋子	(高35回)	木川 大成	(高54回)	山下 大樹
(女6回)	青木 久子	(高9回)	磯崎 照美	(高22回)	近藤 茂代	(高35回)	小瀬 村尚志	(高54回)	秋山 萌美
(女9回)	山下 静枝	(高9回)	長谷川 克己	(高22回)	中村 豊	(高35回)	石黒 貴子	(高54回)	小宮 雅典
(女11回)	杉山 昌子	(高9回)	佐草 純裕	(高22回)	岡田 好美	(高35回)	吉田 晴美	(高54回)	眞壁 いずみ
(女13回)	川口 三子	(高10回)	片倉 暹	(高22回)	三竹 佐久江	(高36回)	戸谷 友樹	(高55回)	小川 亮
(女15回)	川崎 富子	(高10回)	佐野 洋子	(高23回)	吉岡 京子	(高36回)	鈴木 由美子	(高55回)	高橋 潤一郎
(女15回)	山口 美代子	(高10回)	美坂 俊之	(高23回)*	青木 伸司	(高36回)	鈴木 知幸	(高55回)	三篠 志穂子
(女16回)	大木 澄子	(高10回)	浅井 知子	(高23回)	草野 肇	(高36回)	田中 美徳	(高55回)	松岡 愛
(女16回)	津田 敏子	(高11回)	吉野 稜威雄	(高23回)	池田 ちづ子	(高36回)	金子 亨	(高56回)	加藤 大介
(女17回)	相良 昭子	(高11回)	富松 禮子	(高24回)	森 幸男	(高37回)	矢部 昭二	(高56回)	西山 一行
(女17回)	長 愛子	(高11回)	藤澤 加代子	(高24回)	児玉 秀治	(高37回)	尾上 剛広	(高56回)	加藤 純子
(女18回)	安藤 房子	(高11回)	平井 昌利	(高24回)	伊沢 富男	(高37回)	城所 孝光	(高56回)	長屋 晃実
(女18回)	湯山 壽子	(高11回)	藤間 房江	(高24回)	丸岡 等	(高38回)	石井 園子	(高56回)	保坂 ひろみ
(女19回)	加藤 次子	(高11回)	木川 紘治	(高25回)	福田 宗徳	(高39回)	添田 健一	(高57回)	上里 友莉香
(女19回)	大貫 尚子	(高12回)	浅見 知子	(高25回)	早川 博久	(高39回)	河村 敏夫	(高57回)	豊田 真人
(女20④回)	熊井 弘子	(高12回)	鹿島 吉武	(高25回)	神保 正治	(高40回)	宮澤 学	(高57回)	磯村 聡美
(女20⑤回)*	石塚 和子	(高12回)	橋口 栄夫	(高26回)	大森 雄二	(高41回)	中村 良隆	(高57回)	中村 岳志
(女20⑤回)	鈴木 ヤエ	(高12回)	高木 冴子	(高26回)	古正 悦子	(高41回)	山口 敦洋	(高58回)	葛貫 美奈子
(女21回)	森田 和子	(高13回)	飯島 孝志郎	(高26回)	鳥海 衡一	(高42回)	坂上 洋	(高58回)	早田 沙織
(女22回)	夏苺 美恵	(高13回)	井上 公子	(高26回)	吉野 雅裕	(高43回)	金子 貴英	(高58回)*	谷 宜憲
(女22回)	水越 朝子	(高13回)	宮代 真平	(高27回)	安藤 哲史	(高44回)	浦本 容子	(高59回)	上田 一成
(女23回)	根岸 英子	(高13回)	福山 駿	(高27回)	小林 敦子	(高45回)	石川 洋司	(高59回)	清田 千尋
(高1回)	杉山 千代子	(高14回)	鴨志田 尚	(高27回)	福山 裕	(高45回)	薬丸 裕	(高59回)	中村 翔
(高1回)	満川 道子	(高14回)	間宮 勝子	(高27回)	久保田 智子	(高46回)	熊澤 義明	(高59回)	高江 洌 愛
(女24回)	山田 千枝子	(高14回)	松岡 直昭	(高28回)	今坂 正	(高46回)	鳥海 邦生	(高59回)	中山 拓也
(高2回)	平岡 美恵子	(高14回)	内田 登美雄	(高28回)	首藤 佳子	(高47回)	遠藤 直人	(高60回)	幸加木 晴信
(高2回)	石井 照子	(高15回)	中本 秀明	(高28回)	北村 文子	(高47回)	荒井 澄人	(高60回)	橋本 佳居
(高3回)	軽部 良子	(高15回)	鈴木 恒子	(高28回)	菅野 正裕	(高47回)	佐藤 百合子	(高61回)	鈴木 健生
(高3回)	佐藤 慶子	(高15回)	上田 敏子	(高29回)	比企野 雄二	(高47回)	吉野 美紀	(高61回)	堀下 智子
(高4普回)	関 洋子	(高16回)	町田 和子	(高29回)	内田 元彦	(高48回)*	坂本 桂太朗	(高61回)	後藤 貴美
(高4普回)	灘波 京子	(高16回)	玉谷 志津子	(高29回)	福田 耕治	(高48回)	廣瀬 ひろみ	(高61回)	山本 雄大
(高5普回)	木島 俊雄	(高16回)	石川 功	(高30回)	三橋 和彦	(高48回)*	添田 健	(高62回)	志澤 俊哉
(高5普回)	佐川 具玉	(高16回)	船橋 光俊	(高30回)	大野 秀樹	(高48回)*	富永 香織	(高62回)	穂積 麻衣
(高5商回)	城所 ミサ子	(高17回)	児玉 孝雄	(高30回)	大谷 博美	(高49回)	長崎 礼子	(高63回)	蓮田 直毅
(高5普回)	平田 照子	(高17回)	大貝 敏次	(高31回)	松下 真佐志	(高49回)	長谷川 功	(高63回)	田村 菜摘
(高5普回)	鈴木 實	(高17回)	岩淵 京子	(高31回)	角屋 直樹	(高49回)	伊藤 郁	(高64回)	中村 壮志
(高5普回)	武井 薫	(高17回)	藤谷 幸子	(高31回)	坂巻 浩美	(高49回)	吉川 博樹	(高64回)	高原 翼
(高6普回)	宇佐美 静穂	(高18回)	小磯 親吾	(高31回)	篠生 恵美子	(高50回)*	青木 大吾	(高64回)	北原 萌里
(高6普回)	上原 明	(高18回)	芦川 浩	(高32回)	八田 千尋	(高50回)*	小林 和宏	(高64回)	川端 和弥
(高6商回)	河並 昭三	(高18回)	佐藤 則子	(高32回)	星野 恵子	(高50回)	伊藤 裕美	(高65回)	蓮田 賢人
(高6普回)	鈴木 琛子	(高18回)	岩田 千秋	(高32回)	大町 宏子	(高51回)	木村 俊彦	(高65回)	田中 絵里菜
(高7普回)	重田 一郎	(高18回)	伊藤 文江	(高33回)	小川 文伸	(高51回)	石川 香織		
(高7普回)	嶋津 克子	(高19回)	大村 哲夫	(高33回)	筒浦 浩久	(高51回)	石川 ひとみ		
(高7普回)	石井 貞夫	(高19回)	並木 志津江	(高33回)	安藤 裕美子	(高51回)	小川 弘喜		
(高7商回)	三竹 豊美	(高19回)	熊本 吉一	(高33回)	鈴木 衣乃里	(高52回)	鈴木 駿介		
(高7商回)	出縄 和子	(高20回)	奥谷 和義	(高33回)	築城 稔	(高52回)	財部 麻衣		
(高8普回)	土井 紀枝	(高20回)	橋爪 功明	(高33回)	土田 紀子	(高52回)	湯澤 良		
(高8商回)	土屋 田鶴子	(高20回)	佐藤 悦子	(高34回)	丹野 栄一	(高52回)	神田 恵		
(高8普回)	高橋 烈雄	(高20回)	早川 久美子	(高34回)	田中 暢子	(高53回)	小野 政一		
(高8普回)	加藤 千里	(高21回)	清水 明子	(高34回)	高嶋 均	(高53回)*	大高 大輔		
(高8商回)	福島 道枝	(高21回)	沖山 真知子	(高34回)	平野 貴裕	(高53回)*	善波 伴恵		
		(高21回)	下田 忠男	(高34回)	佐久間ひとみ	(高53回)	添田 淳子		
		(高21回)	田中 雄一	(高34回)	栗田 さゆり				

地区代議員

大磯支部	(高13回)	大内 守雄	二宮支部	(高14回)	小泉 和子	藤沢支部	(高6普回)	河野 剛雄
	(高7普回)	加藤 大八		(高14回)	西山 昭		(高17回)	中丸 馨子
秦野支部	(高10回)	府川 京子	松田支部	(高26回)	吉田 おおる	寒川支部	(高7普回)	原 英夫
	(高10回)	大庭 宏子		(女16回)*	竹内 美千代	横浜支部	(高6商回)	深瀬 恵美子
	(高10回)	須藤 幾三	小田原支部	(女20④回)	長谷川みち子		(高6商回)	栗原 茂美
	(高12回)	平井 和夫		(高20回)	小西 紀子	東京支部	(高7普回)	古木 光義
	(高11回)	小林 直子	茅ヶ崎支部	(高12回)	加藤 明子	関西支部	(女9回)	田口 あい子
	(高11回)	古谷 尚子		(高16回)	雲英 春子			

職域・クラブOB代議員

吹奏楽部OB会(江委会)支部	(高21回)	木崎 二郎	水泳部OB会支部	(高21回)	粟生 光一
陸上部OB会支部	(高27回)	鈴木 奏到		(高22回)	石井 真吾

*印は連絡先が不明の方です、ご存知の方は江南同窓会総務委員会(info@konan-dosokai.jp)までお知らせください。

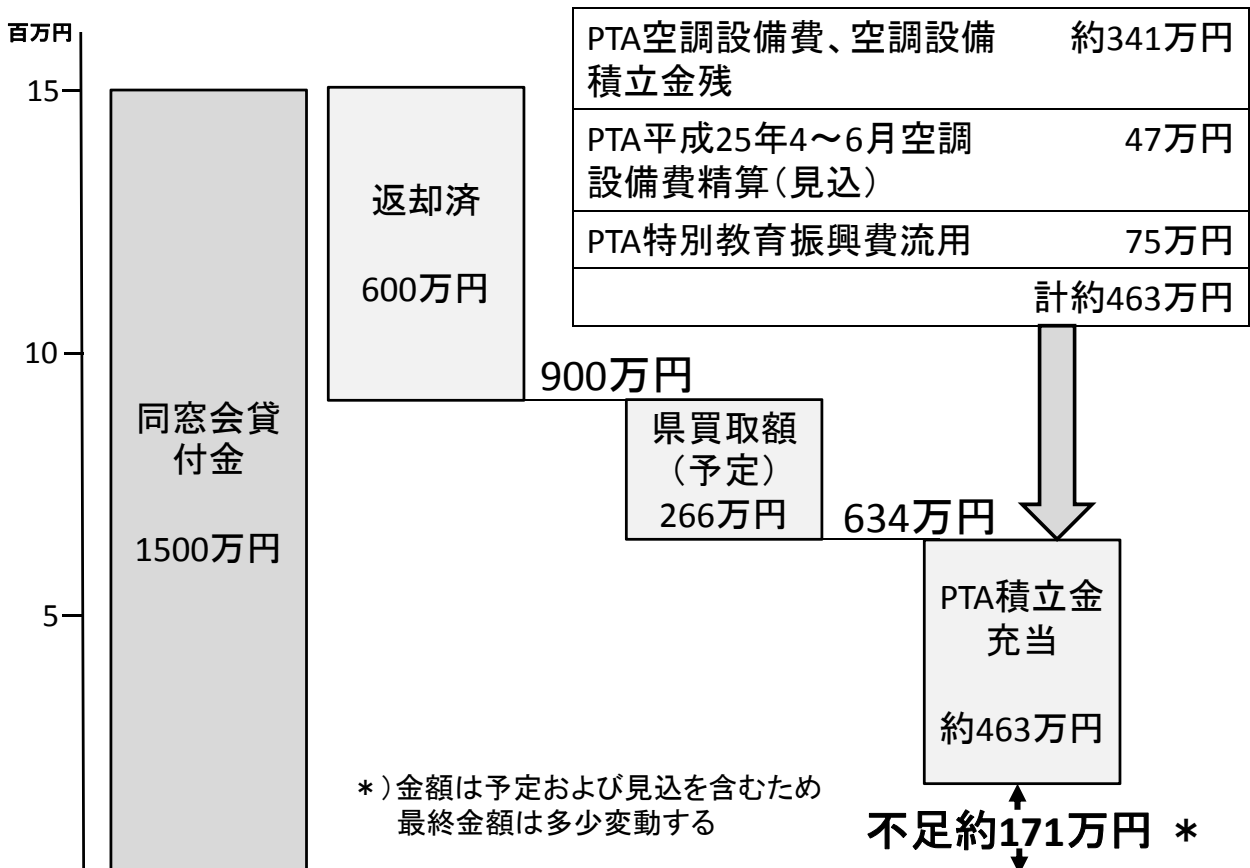
エアコン貸付金の処理について

- 平成24年度末時点返済600万円(計4回)、残額900万円
- 県の空調整備事業により、本校設置済みの空調機について、簿価相当額(約266万円)で買い取る予定と通達。
- 本年7月から空調に係る経費の私費徴収を認めないという県の方針より、同窓会への返済額残(約634万円)の処理についてPTAより相談があった。
- PTAとして空調費積立金の充当および特別教育振興費を流用することとしたが、約171万円不足となる。

－ PTA空調設備費、空調設備積立金残の充当	約341万円
－ PTA平成25年4月～6月空調設備費の精算	約 47万円(見込)
－ PTA特別教育振興費からの流用	75万円
	計約463万円
	(約171万円不足)

県からの『費用の精算は平成25年度内で完了すること』との通達があり、同窓会としても母校への支援の一環として不足額(約171万円*)を負担することにしたい。

*)金額は予定および見込を含むため最終金額は多少変動する



江南同窓会会則

平成24年6月3日 改定

- 第1条 (名称) 本会は江南同窓会と称し、〒254-0063平塚市諏訪町5-1 神奈川県立平塚江南高等学校内に事務所を置く。
- 第2条 (会員) 本会の会員は次のとおりとする。
(1) 正会員 神奈川県立平塚高等女学校卒業生、神奈川県立平塚女子高等学校卒業生(併設中学校卒業生を含む)、神奈川県立平塚江南高等学校卒業生を以て組織される。(修了者ならびに中途退学者の希望入会も認める。)
(2) 特別会員 母校職員および母校職員であった者。
- 第3条 (目的) 本会は会員相互の親睦を図りならびに母校発展に寄与する事を目的とする。
- 第4条 (事業) 前条目的のため、会報の発行、会員相互の親睦、情報の交換その他総会または役員会が認めた事業、ならびに母校発展に寄与する事業を行う。
- 第5条 (役員) 本会に次の役員を置く。
(1) 会長 1名
(2) 副会長 若干名
(3) 会計 2名
(4) 幹事 若干名
(5) 名誉顧問 1名
(6) 顧問 若干名
(7) 監事 2名
- 第6条 (役員) 役員は次のように選任する。
(1) 会長、副会長、会計、および監事は正会員より役員会が推薦し、総会の承認を得て決める。
(2) 幹事は正会員および母校に在籍する特別会員の中から会長が委嘱する。
(3) 会長、副会長、会計、および幹事の任期は、いずれも2年とする。ただし再任を妨げないが、会長の在任期間は連続して5期を超えることができない。
(4) 名誉顧問は学校長に依頼する。顧問は会長が役員会の決議に基づき、特別会員に委嘱する。
- 第7条 (役員) 役員は次の職務を行う。
(1) 会長は本会を代表して事業を統括する。
(2) 副会長は会長を補佐し、会長事故ある時は、これを代行する。
(3) 会計は本会の出納管理を行う。
(4) 名誉顧問、顧問は本会と平塚江南高校との連携、交流に寄与する。
(5) 監事は本会の経理および職務執行に関する監査を行い、総会に報告する。
- 第8条 (名誉会長)
(1) 名誉会長は会長が役員会の決議に基づき、会長経験者の内より委嘱することができる。
(2) 名誉会長は本会の重要事項に関し会長の諮問に応ずる。
- 第9条 (参与)
(1) 参与は会長が役員会の決議に基づき、本会に特に功績のあった会員に委嘱することができる。
(2) 参与は本会の重要事項に関し会長の諮問に応ずる。
- 第10条 (支部) 本会に支部を置く。ただし支部未結成の地区在住者は本部扱いとする。また、クラブ・サークル活動OB会、職域OB会などを支部として置く事もできる。
(1) 各支部は本会とは独立した会計ならびに管理責任の下で運営される。
(2) 各支部はその名称、活動する地域、役員名、事務所等を会長に届け出るものとする。
(3) 支部の新設、統合、廃止などは役員会の承認を必要とする。
- 第11条 (機関) 本会に次の機関を置く。
総会、役員会、および委員会
- 第12条 (総会) 本会は次のように総会を開催する。
(1) 総会は本会の最高議決機関で代議員を以て構成し、年1回開く。
(2) 総会は代議員の過半数の出席をもって成立する。ただし、出席は委任状の提出をもって代えることができる。
(3) 総会は原則6月第1日曜日とする。
(4) 総会の議決は、第23条に定める場合を除き、出席代議員の過半数をもってこれを議決する。
- 第13条 (代議員) 代議員は各回数から原則として男子2名と女子2名、各支部から2名を選出する。ただし、各回数、各支部において代議員が定員に満たない状況が生じた場合には会長が該当する回数、支部の適任者に委嘱できる。
- 第14条 (総会の審議事項) 総会は次の事項を審議し、議決する。
(1) 会則の変更
(2) 事業報告および決算の承認
(3) 事業計画および予算の承認
(4) 会長、副会長、会計、監事の承認
(5) その他役員会の認めた必要事項
- 第15条 (役員会) 本会は、次のように役員会を開催する。
(1) 役員会は、役員によって構成される。
(2) 役員会は、本会の事業計画および予算ならびに決算などを審議する。
(3) 役員会の議事は、出席役員の過半数をもって決定する。ただし、監事は議決に参加しない。

- 第16条 (委員会) 本会に次の委員会をおき、以下の業務を担当する。
 (1) 広報委員会 江南同窓会報の発行、会員向け広報、ホームページ運営、校歌祭運営など
 (2) 財務委員会 会計の管理、年次収支予算の立案、年次収支決算の作成、財務計画の立案など
 (3) 総務委員会 総会および役員会の統括、事業計画の策定、会員情報の管理、会員名簿の発行など
 (4) 会長は以上のほかに必要と認められる場合に、役員会の承認を経て特別委員会を設置することができる。
 (5) 各委員会の委員長ならびに委員は本会の役員または会員の中から会長が委任する。
- 第17条 (役員会の討議事項) 役員会は次の事項を討議する。
 (1) 総会審議事項の予備討議
 (2) 会計報告及び予算に関する事項
 (3) 会員名簿の整理に関する事項
 (4) その他必要事項
- 第18条 (経費) 本会の経費は、入会金、卒業10年毎会費、事業収益、寄付金をもってこれに当てる。卒業10年毎会費とは卒業後10年から50年までの各10年毎に支払う会費とする。
- 第19条 (会費) 入会金及び卒業10年毎会費の金額は総会で決定する。
- 第20条 (会計年度) 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
- 第21条 (議事録) 総会および役員会について次の事項を記載した議事録を作成する。
 (1) 日時及び場所
 (2) 出席構成員および、役員の氏名
 (3) 議決事項
 (4) 議事の経過概要
- 第22条 (その他) この会則に定めのない事項を、江南同窓会細則として、役員会で定めることができる。
- 第23条 (会則の変更) この会則は、総会において、出席代議員の3分の2以上の賛成によって変更することができる。
- 第24条 (改定履歴) 本会則は、昭和5年4月1日制定
 昭和14年11月、昭和26年10月7日、昭和33年4月29日、昭和39年6月15日、昭和45年4月29日、昭和50年4月29日、昭和55年4月29日、昭和57年6月6日、昭和59年6月3日、平成3年6月9日、平成6年6月5日、平成21年6月7日、平成22年6月6日、平成23年6月5日、平成24年6月3日 改定。

江南同窓会細則

平成25年1月15日改定

- 第1条 (財務委員会事務局) 会則第16条に定める財務委員会の事務局を会計担当者宅に置く。
- 第2条 (会費) 会員は以下に定める会費を納入する
 (1) 新たに正会員になる者は、入会金として総会の決定に基づき7,000円を納入する。ただし、徴収は平塚江南高校の同意を得た上で行われる。
 (2) 卒業10年毎会費に該当する正会員は会費として総会の決定に基づき5,000円を納入する。
 (3) 納入期間は会報発行日から翌年3月末までとする。ただし、期間を過ぎての納入も可能とする。
 (4) 第1項、第2項ならびに第3項は平成24年度より実施する。
 平成24年度は10年:54回生、20年:44回生、30年:34回生、40年:24回生、50年:14回生が該当する。
 また、すでに該当年を過ぎている正会員は過去にさかのぼり協力するものとする。
- 第3条 (行事の輪番運営) 会員は以下により輪番で本会の行事運営に協力する。
 卒業回数¹の末尾が同じ年度の会員は総会および懇親会など本会の行事を輪番で役員会と連携して運営に協力する。ただし、卒業後50年経過後は、輪番運営の義務を負わないものとする。
輪番運営の学年は、第2条で定めた卒業10年毎会費の納入期間に該当する学年と同じとする。
- 第4条 (現況の連絡) 会員は、相互の連絡に必要な住所、電話番号等を本会に連絡、登録する。
 会員は、同窓会よりの名簿発行の作成依頼がある都度、住所、電話番号、勤務先、改姓などを、本会に連絡する。ただし、希望により氏名、住所以外の情報は登録しなくてもよい。支部、同期会、クラス会、クラブ・サークルOB会などの代表者は、それぞれの会員名簿等の提供を通じ、本会が会員の正確な情報を把握できるように協力する。
- 第5条 (地域支部の統合) 地域支部は当初の設置目的を達成したため、平塚市内各支部は本部へ統合し、平塚市外の地域支部は最小単位を市町村単位へと統合する。統合に伴い平塚市内各支部代議員には該当する学年代議員を委嘱する。平塚市外の支部代議員には統合された支部代議員を委嘱する。本統合は平成23年6月5日に実施する。
- 第6条 (会報および名簿の発行) 本会は会則第3条に定める目的を達成するために「江南同窓会報」ならびに「江南同窓会会員名簿」(以下本名簿という)を発行する
- 第7条 (名簿の管理) 本名簿は総務委員会が管理し、個人情報等の機密保持に努める。
- 第8条 (名簿の利用制限)
 (1) 会員は、本名簿を会則第3条に定める目的以外のために利用してはならない。
 (2) 会員は、本名簿を会員以外の第三者の利用に供してはならない。
- 第9条 (細則の変更) この細則の変更は、役員会において出席役員²の3分の2以上の賛成を必要とする。
- 第10条 (改定履歴) 本細則は、平成21年6月7日制定 平成23年6月5日、平成24年6月3日、平成25年1月15日改定。

校歌を歌おう！

今年も江南同窓会は「第8回 青春かながわ校歌祭」に参加します。

開催日 平成25年9月28日(土)
会場 横浜市西区紅葉坂 「神奈川県立青少年センター」
横浜市営地下鉄ブルーライン・JR根岸線「桜木町駅」より徒歩10分
京浜急行線「日ノ出町駅」より徒歩10分
みなとみらい線「みなとみらい駅」より徒歩20分

会場は、校歌祭発祥の地「神奈川県立青少年センター」に戻りました。
「平塚高等女学校校歌」「平塚江南高校校歌」「第一応援歌」を一緒に歌いましょう。
今年も同窓のご友人をお誘いの上、是非ご参加ください。参加される方には練習日、
集合時間など詳細を追ってご連絡します。

江南同窓会 会長 真壁佐一
江南同窓会 校歌祭実行委員会

.....
「第8回 青春かながわ校歌祭」参加申込書

(ふりがな)

お名前 _____ (女/高 回卒)

連絡先 〒

住 所 _____

電 話 (携帯電話番号もご記入ください)

自 宅 _____ ()

携 帯 _____

メールアドレス _____

申込み先：美濃本小夜子

koukasai@konan-dosokai.jp

Fax 番号：0463-76-7461

*いただいた情報は「第8回 青春かながわ校歌祭」以外の目的には使用いたしません